

「よむよむ通信」 第3号

令和5年7月3日

秦野市教育委員会

～お気に入りの一冊をあなたへ

「読書すい選文コンクール」～

夢中になって読んだお気に入りの一冊、今も大切な思い出の一冊。共感したストーリーや心に残った言葉、登場人物など、あなたのお気に入りの一冊を誰かに推薦してみませんか？

これは小・中学生を対象にしたもので、おすすめしたい本の「何が気に入っていて」「誰に何を伝えたいのか」を専用の原稿用紙に作文するものです。

対象図書は、「お気に入りの図書」であるということ。絵本、小説、詩集、図鑑、マンガなど幅広く対象となります。

好きな本を自分が読んでほしい誰かにすすめる文章を書くことによって、感動や思いを言語化し、思いを伝えるための思考力や文章にする表現力が育まれていきます。

応募書類や応募方法など、詳しくはコンクール事務局ホームページに掲載されています。ぜひご覧ください



ホームページ
二次元コード

～ご提案！「未来読書通帳」～

秦野市立図書館で配布している「よむよむ手帳・みるみる手帳」や秦野市教育研究所の「読書の森」は、これまで自分が読んだ本を記録として残していくものです。

それに加えて、これから読む・読みたい本をリストアップしていくのはどうでしょうか。名付けて「未来読書通帳」！友だちが読んでいた本やテレビで紹介されていて気になった本など、次に読みたい本を決めておくと、読書意欲も高まりワクワクが倍増するかもしれません。

ノートや手帳など自分に合ったものを選んで、自分好みにカスタマイズしていけば、手帳そのものを作り上げていく楽しみもあります。

「未来読書通帳」、いかがでしょうか！？



【おすすめ図書の紹介コーナー♪「すみっこ」】

○「みえるとかみえないとか」

(ヨシタケシンスケ:アリス館)【幼児～小学校中学年むけ】

宇宙飛行士が、宇宙人に話しかけると、同じものでも見る世界は大きく違っていた。同じところを探しながら、違うところをお互いに楽しめる、そんな絵本です。

○「びりっかすの神さま」

(岡田 淳:偕成社)【小学校高学年～中学生むけ】

転校生の始は、転入したクラスで背中につばさのある男を目撃する。その男はビリの人にだけ見える神さまだった。やがて、子どもたちは競争や勝ち負けについて考えはじめる…。

